

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	演劇	種目	演劇
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要

ふりがな	イッパンシャダンホウジンゲキダンノバラ		
制作団体名	一般社団法人劇団野ばら		
代表者職・氏名	代表理事 北川明光		団体ウェブサイトURL
			info@gekidan-nobara.com
制作団体所在地	〒 203-0012	最寄駅(バス停)	西武池袋線ひばりヶ丘
	東京都東久留米市浅間町2-9-8		
制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
ふりがな			
公演団体名			
代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL
公演団体所在地	〒	最寄駅(バス停)	
制作団体 設立年月	1970年7月創立、一般社団法人化 2016年4月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事 北川明光 理事 保坂 淳 理事 関 明	構成員12人 演技部8人 演出部1人 制作部2人 事務1人	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	北川明光 山形重和
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	山形重和
本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
	info@gekidan-nobara.com		0424399778

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<ul style="list-style-type: none"> ・劇団野ばらは1970年に創立、創作劇を中心に制作全国の小学校、教育委員会主催の鑑賞会で評価を得て公演活動を行う。 ・日本アシテジ加盟。韓国公演実施。 ・日本児童演劇協会に加盟。 (後に日本・青少年演劇劇団協同組合に改組) 学校、ホール公演を実施する) <ul style="list-style-type: none"> ・蓑田正治「ともだち」 厚生省中央児童福祉審議会推薦 ・原田 亮「アリスがくれた不思議な時間」 厚生労働省社会保障福祉審議会推薦文化財・厚生 労働省社会保障審議会推薦作品 ・2016年(平成28年) 法人格変更 一般社団法人化 	
	学校等における公演実績	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年以降、直近の学校公演実績 約230公演 ・令和7年2025年 (令和7年8月現在の決定校) 45校 ・令和6年2024年 34校 ・令和5年2023年 55校 ・令和4年2022年 47校 ・令和3年2021年 49校 	
	特別支援学校等における公演実績	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校実績 ・北海道立網走用後学校 北海道立紋別養護学校 ・石川県立七尾養護学校 ・福井県立福井擁護学校 ・東京都立田無特別支援学校 ・大分県立中津支援学校 大分県立別府支援学校 ・佐賀県立唐津特別支援学校 佐賀大学附属特別支援学校 佐賀県中原鳥栖田代支援学校 	

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	無	
	※公開資料有の場合URL		
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	

別添	なし
----	----

【公演団体名 一般社団法人劇団野ばら 】

本公演・ワークショップの内容

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	-
企画名	創作劇「あしたあさってしあさって」			
企画のねらい	本事業の目的である「子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成」を図り、いつもと違う姿、劇空間になった体育館で目の当たりにする出演者の息遣いや汗、生であるこそ緊張感や迫力や感動の瞬間を児童の皆さんに届けます。 そして現在の子供たちの身近にある問題を、劇を通して定義することにより多くの児童にとって自分の日常生活を振り返り、学校でも、家庭でも、「今日の劇は、こんな劇だったよ・・・」と周りの人と話し合いができる、そのきっかけとなる公演にしたい。			
演目概要・演目選択理由	創作劇「あしたあさってしあさって」 演目概要 主人公の健太郎は、自分勝手に大変乱暴な小学校4年の男の子。ゲーム機で遊んでいた健太郎は、ある事件で気を失い倒れてしまう。きがつくと、そこはゲームの世界・・・今までいじめていたカエルや猫、小鳥やトンボの魔物が次々と現れ健太郎に復讐する・・・ 選択理由 小椋佳作曲の主題歌と金子みすゞの「わたしと小鳥とすずと」の2曲とともに、子供たちに生きる勇気と喜びを与える曲と高い評価を得ています。クリエイティブな舞台セットや道具は学習発表会に活用してもらえと思っています。			
児童・生徒の参加または体験の形態	小椋佳作曲、主題歌「きのう悲しみに出会った君は」「わたしと小鳥とすずと」の2曲を収録したCDを事前に学校へお渡しします。 校内放送や学級で流してこの曲を親しんでいただきます。 当日は劇のエピローグで、事前にワークショップに参加したグループに舞台に立っていただき、振りを交えて全校児童と2曲を大合唱します。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演		参加・体験人数目安	30名～50名(歌は全校児童の参加)
			鑑賞人数目安	300名
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	創作劇「あしたあさってしあさって」 脚本ー笠本康一 演出ー北川明光 振付ー飯塚健祐 作曲ー小椋 圭・田島美津子			
	公演時間	80	分	
出演者	・保坂 淳 ・高崎史人 ・平田敦史 ・吉川有美 ・遠藤 仁 ・平田美穂			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	保坂淳ー劇団在籍30年を超える中心女優「アリスがくれた不思議な時間」ひかる、を演じ評価を得る。 高崎史人ー劇団在籍20年を超える班のまとめ役として劇団員の信頼を得ている。各作品の主役級を演じている。 北川明光ー劇団代表、脚本、演出、音響とマルチに活躍して劇団員、外部スタッフより高い信頼を得ている。			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者:	6	名	運搬 積載量: 2 t 車 長: 7 m 台 数: 1 台
	スタッフ:	3	名	
	合 計:	9	名	

本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込		有	前日仕込所要時間		2～3	時間程度
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出
	19時	19時～21時		70分	なし	90分	21時
	※本公演時間の目安は、概ね2時間分程度です。						
本公演 実施可能日数 目安 <small>※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。</small>	6月		7月		8月		9月
							5日
	10月		11月		12月		1月
	10日		10日		9日		
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					計	34日
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真) <small>※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡易図面」を記載し</small>	 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-left: 10px;"> 舞台に必要な面積 間口約10.8m 奥行約7.2m </div>						
	 <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-left: 10px;">プロローグ 公園遊び</div>						
	 <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-left: 10px;">第二場 ドラゴン登場</div>						
	 <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-left: 10px;">第三場 猫たちと健太郎</div>						
	 <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-left: 10px;">第四場 トンボ鳥ケロと健太郎</div>						
	 <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-left: 10px;">第七場 公園 ～エピローグへとつづく</div>						
著作権、上演権等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否			該当なし		該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名		許諾確認状況			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 一般社団法人劇団野ばら 】

ワークショップの内容	ワークショップのねらい	子供たちが普段閉ざしているものを解放し、新しい自分の発見につながることを願います。 自分の本当の気持ちを他人に伝えることは作品のメッセージのひとつです。 このワークショップを児童の皆さんに、心の声(本当の気持)が表現できるよう成るためのきっかけにしてほしいと思います。		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	30名～50名(歌は全校児童の参加)
	ワークショップ実施形態及び内容	指導者・補助者と一緒に、身体の解放、心の解放をおこないます。 ・事前の鑑賞指導10分 作品中に出てくる童謡詩人金子みすゞについての生涯を朗読します。 ・実技指導30分 身体訓練と簡単な脚本を使い劇の上演指導。 ①目的は子ども達の想像力、表現力の育成 ②コミュニケーション能力の育成。 ・10分間の休憩 ・共演の指導40分 プロローグでは、児童の日常の公園遊びを出演者と一緒に表現します。 エピローグで私たちと共演するため、劇中で歌われる「わたしと小鳥とすずと」の歌唱と振付を指導します。		
	その他ワークショップに関する特記事項等			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名 一般社団法人劇団野ばら 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入らず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。				
会場の設置階の制限	条件なし		主幹引き込み電源容量		100 A以上
舞台設置面積	間口	10.8 m	奥行	7.2 m	
	高さ	4 m			
舞台設置場所	フロア対応	条件なし	学校のステージでの対応		条件が合えば可
搬入間口の広さ	幅	1,8 m	高さ	2 m	
遮光の要否	5割程度必要		緞帳の要否		有無のみ確認したい
ピアノの使用について	使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定		
			ピアノを使用しない場合の移動の要否		要
搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離		50 m以内
搬入車両の種類	中型トラック		台数	2 台	
搬入車両の大きさ	車幅	2.5 m	車長	7 m	
備考					

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。				
会場図面の提出要否	要				
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	なし				

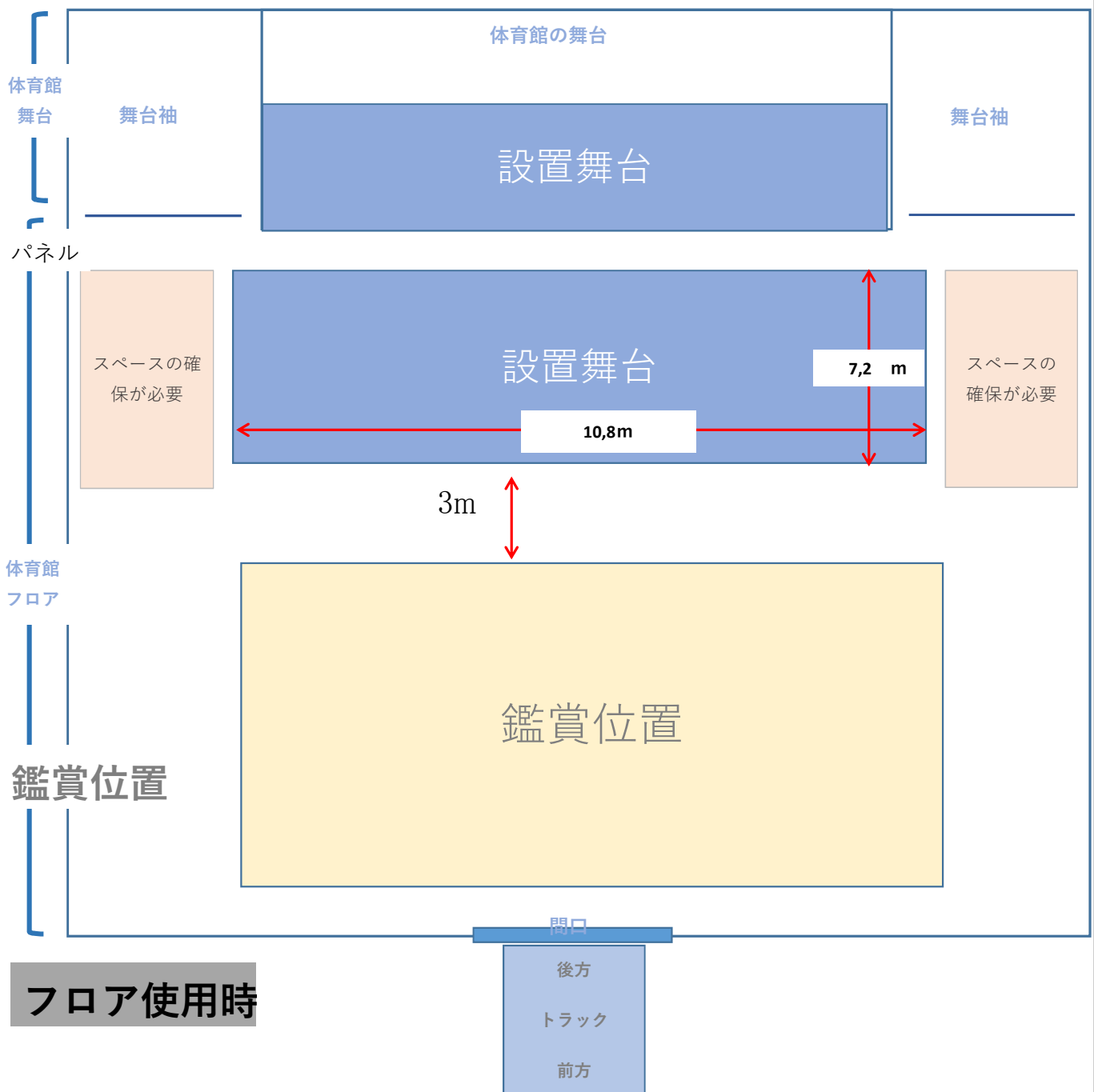
時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合には、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
	ワークショップ					
	本公演					
	本公演					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1		
	2		
	3		

(任意) 会場条件について最低限必由条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。

会場簡易図面



別添

なし

【公演団体名 一般社団法人劇団野ばら 】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

本事業の目的である「子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、いつもと違う姿、劇空間になった体育館で、目の当たりにする出演者の息遣いや汗、生であるからこそその緊張感や迫力や感動の瞬間を児童の皆さんに届けたいと思います。
現在の子供たちの身近にある問題を、劇を通して定義することにより、自分の日常生活を振り返る、きっかけとなる公演にしたいと思います。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

初めての対面で観劇だけでなくワークショップは重要な要である。子供の自然な動きを指導することにより、個性の違う子供達の感性を引き出しコミュニケーション能力を発揮できる工夫を行います。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

【学校との連絡調整について】

実施希望調書に基づき担当者氏名を確認します。
その上で、スケジュール調整、ワークショップ調整を行い実施日を確定します。初めての実施校の場合、ワークショップへの質問が多くワークの実施内容について丁寧な説明を行い、内容については文書化した手引きを学校へお送りします。
本公演については、ワークショップの際、体育館の下見を行い会場条件の確認を行うことでスムーズに行える体制を整えます。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

過去の実情を踏まえ、ワークショップ参加児童への過度な負担を抑えるよう、担当教諭と話し合いを持ちます。ワークショップ当日に担当教諭が現場を見ているので子供達の状況を確認して問題がある場合は話し合う場としては適切と思われます。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

過去にありましたが、本事業の実情を理解できるよう本公演、ワークショップを記憶できるよう、学校でビデオ収録して利用されることが継続的に残ると考えます。文書による保存も必要ですが映像による保存はより効果がある方法と思われます。